



すずむ
涼

富岡 勝則

皆さんこんにちは。

一年でもっとも暑く、躍動的な季節となりました。子どもたちにとっては、待ちに待った夏休みとなり、友達とプールへ出かけたり、ご家族で旅行へ行かれたりと、外出する機会が多くなるのではないのでしょうか。私も、真っ青な空に入道雲が現れると、子どものころに近所の友達と三角野球や黒目川で川遊びなどをして、一日中遊び回っていたことをふっと思い出すことがあります。戻れるものならば、あの暑い夏の日に帰ってみたいと思うのは私だけでしょうか。

さて、連日うだるような暑さが続いています。この暑さとともに心配されるのが熱中症です。今年も電力の供給不足に加え電気料金の値上げも予想されるため、昨年よりも節電に対する意識が高まるものと思います。ただ、エアコンの利用を過度に控えると、熱中症を引き起こすなど体調を崩すことにも

つながりかねません。特に高齢の方や赤ちゃんがいるご家庭では上手にエアコンや扇風機を活用して、こまめに水分を補給するなど、予防対策をしっかりと行ってください。

ところで、皆さんは「クールオアシス」という言葉をご存じでしょうか。これは、埼玉県が推進している事業で、高齢者や子ども連れの方などが、暑さの厳しい日中、外出した際に、体温の上昇や水分不足により熱中症にかかることのないよう、冷房の入った身近な施設を、一時的な休憩所や昼間の室内高温時の緊急避難所としてご利用いただくものです。朝霞市も、今年から市役所をはじめ図書館や公民館、市民センターなど市内24か所の公共施設を提供しています。施設によっては、飲料水等の自動販売機が設置されているところや冷水機などにより水分補給ができるところもありますので、気軽にこの「クールオアシス」をご利用いただき、熱中症の予防と節電の両立にお役立てください。

さあ、夏真っ盛り。この季節は、「彩夏祭」を中心に市内各地で夏祭りが目白押しとなります。週末になると私も数か所を掛け持ちで飛び回って、盆踊りやカラオケ大会、模擬店など皆さんの輪の中に入れていただき、楽しいひとときを過ごしています。これからも、暑い日が続きますが、皆さんもご家族や仲間同士で、夕涼みがてら地域のイベントに参加してみませんか。では、また。

朝霞市は 男女平等を進めています

～一緒に考えていこうよ④～

男女の間で考え方や意見が違うとき、そこにはそれぞれの“言い分”があることも。お互いが相手の目線で考えることができればよりよい関係が築けるのでは…そんな思いをこめて、このコラムではさまざまなライフステージでの男女の言い分を、男女平等推進事業企画・運営協力員が身近にいる男女にインタビューして紹介します。

今回のテーマは、「結婚観からみる妻の言い分」です。

周りの20代から70代の結婚している女性にインタビューしました。

まずは、こんな質問から。「結婚を決意した理由は？」

「子どもがほしいと思った。」「相手の海外赴任」などのきっかけや「勢い」で結婚したという回答のほか、50代～70代からは「ある程度の年齢になったら結婚するのが当たり前だった。」との回答も。最も多かったのは「一緒にいて安心する。」「家事も対等に分担できる相手であった。」など、「この人と結婚したいと思える相手と出会えたから」という回答でした。

続いて、「あなたにとって結婚とは？」

若い世代では、前回の夫へのインタビューで多かった「制約」や「縛り」という回答はなく、「成長し続けること」という回答が目立ちました。世代が上がるにつれ「叱咤激励し合える生涯の仲間を得ること」「良いときも悪いときも分かち合える人と新しい家族を築いていくこと」「一緒に年をとること」など、全体的に、「夫は人生を共に歩みその悲喜こもごもを分かち合うパートナーである」という意識が強いようです。

さらに、「あなたにとって結婚の理想と現実とは？」

「大変なことはあるけど、想像していたよりも楽しい。」「結婚は個人だけではなく、家（相手の家族）との結婚（親戚付き合い）だと実感。」などの回答が。すべての世代を通じて一番多かったのは「現実との違いがない。」で、約半数を占めました。「結婚前は結婚生活のことを考えていなかった。」を含めると、さらに多くの人がギャップを感じていないという結果でした。そして、60代70代からは「いろいろあったが、現在、元気で働けてよかった。」「意見の違いもあったが、お互いに成長して50周年を迎え、幸せな人生だと感謝の日々」など、夫と分かち合ってきたこれまでの人生を振り返っての重みのある回答が。

今回のインタビューの中で、「普段こういう機会はないから、改めていろいろ考えた。」という感想もありました。私たちは、人生を振り返ったときにどんな風に感じるのでしょうか？これを機に、ご自身の結婚観やパートナーの思いに考えを巡らせてみてはいかがでしょうか。

（次回のテーマは

「子育て観からみる父親の言い分」です。）

*このコラムは、「朝霞市男女平等推進事業企画・運営協力員」との協働により掲載しています。

問/人権庶務課 ☎2255 📠463-2697

ひとの推移

人口	13万1,749人（－40人）	世帯数	5万9,846世帯
男	6万7,202人（＋18人）		（－90世帯）
女	6万4,547人（－58人）	平成24年7月1日現在（ ）内は前月比	